

可能性調査事業の場合

事業の概要（共通）

事業名	〇〇〇市〇〇〇用水への小水力発電の導入可能性調査	
地域課題	〇〇〇〇〇〇〇	
事業の効果	課題解決効果	〇〇〇〇〇〇〇
	他地点への波及の可能性	(採用する機器、技術、工事方法、ノウハウなどがどういところで利用できる可能性があるかなどを具体的に記載してください)
	再生可能エネルギー利用拡大に係る貢献	(その他、コスト低減技術の採用など、事業の実施が小水力・バイオマスの導入の拡大に資する事項があれば記載してください)
実施体制・役割分担	<p>(事業者内の実施体制、各担当者の資格の有無、外部組織との連携体制・役割分担)</p> <pre> graph LR A[株式会社〇〇〇〇〇〇〇] -- 委託 --> B[株式会社△△△△△△] A -- 使用料 --> C[株式会社□□□研究所] </pre>	
許認可・地元対応	関係者との合意形成の状況	(地権者、水利権者、地元自治体・地元住民との間で調整・合意形成している事項があれば記載してください。)
	法令、許認可等に関する諸手続きの状況	(河川法、電気事業法など関係法令の手続き状況について記載してください。)
	系統連携に関する調整の状況	(電気事業者との調整状況について記載してください。)
	その他実施上問題となる事項	(その他特筆すべき事項があれば記載してください)

事業の概要 (可能性調査事業)

調査の概要※	<p>(調査項目) (既存資料調査、現地調査により把握する事項を各々記載してください (例: 流量、落差、周辺環境、アクセス、法規制の状況、水利権の有無・種類))</p> <p>(調査方法) (既存資料調査・現地調査の別、現地調査の調査方法及び使用機器などを記載してください。また、有識者や地元へのヒアリング調査についても記載してください。)</p>	
調査地点※	所在地	静岡県〇〇市〇〇
	地点の名称	〇〇〇〇
	調査地点の施設管理者	〇〇〇〇市
調査地点選定の根拠※	<p>(地点特性と事業内容の合致などの観点で具体的に記載してください。)</p> <p>予備調査の結果、弊社で設置実績の多い〇〇〇〇〇〇〇〇式水車を活用できる〇〇や〇〇といった条件があり、既存の水利権の従属により導入可能であることから選定する。</p>	
導入想定設備※	95 kW (〇 t/h 混焼ボイラー、使用燃料: 木質チップ及び石炭、バイオマス依存率 85%)	
設備導入に向けた実現性	<p>(小水力: 導入可能性・採算性に関する見込み、バイオマス: 材料の継続的な調達など事業実現性の見込みなどを記載してください) 予備調査やヒアリングによれば、水量が通年で確保されている可能性が高く、既存の水利権の従属により導入可能であり、時間のかかる法手続きも不要であるほか、施設の管理者である市や土地の所有者からの賃借についても内諾を得ている。検討中の水車は、汎用性が高く低コストな設備であり、大規模な土地造成・設置工事も不要であることから、十分な実現性が見込まれる。</p>	
調査事業後の設備導入に向けた事業計画	<p>事業実施計画</p> <p>〇年〇月～〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇詳細設計</p> <p>〇年〇月～〇年〇月 機器設置工事</p> <p>〇年〇月～ 稼動開始</p> <p>事業実施体制</p> <p>発電事業者: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>維持管理者: 〇〇〇〇〇〇</p> <p>電力利用者: 〇〇〇〇〇〇 (〇〇〇〇〇〇協定を〇〇〇〇と締結予定)</p>	

注 1) 適地調査の場合は、※箇所のみ記入。

注 2) 調査地点の場所がわかる地図、水系・流量・燃料資源・温泉資源に関する資料を添付すること。

事業の概要（設備導入事業（1））

事業実施場所	住所	静岡県〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	設置場所の施設名称	〇〇〇〇〇		
	施設管理者	〇〇〇〇〇会社 〇〇〇〇		
導入する発電設備及び熱利用設備	（設備種別、設備規模、燃料、バイオマス依存率など） 水力発電、〇kW（〇〇水車、〇〇発電機、〇kW×〇台）			
設備及びシステムの概要	水系及び使用河川名	水系名：	取水河川名：	放水河川名：
		〇〇〇〇〇川	〇〇〇〇〇川	〇〇〇〇〇川
	流量	豊水時：〇〇m ³ /s	平水時：〇〇m ³ /s	渇水時：〇〇m ³ /s
	取水設備	〇〇株式会社の現在使われていない取水設備を利用		
	発電方式	〇〇水車〇〇方式		
	使用水量	〇〇m ³ /s		
	落差	総落差：〇〇m	有効落差：〇〇m	
	出力	最大出力〇〇kW		
	水車	（種類、容量、台数） 〇〇水車、〇〇kW、〇台		
	発電機	（種類、容量、台数） 〇〇モーター、〇〇kW、〇台		
	発電システムの特徴	〇〇会社の〇〇システム 〇〇の利点があり、〇〇等で採用実績あり 〇〇により災害時の〇〇を監視し、〇〇により制御する。		
	燃料資源（バイオマス、温泉付随ガス）	（種類、調達計画） 木質ペレット 〇〇会社から購入 〇t		
	温泉資源（温泉熱利用、温泉熱発電）	（源泉温度、源泉利用状況、利用可能湯量、泉質の状況）		
設備仕様	（設備名称、出力・規模、仕様、特徴） 〇〇装置（発電出力〇〇kW×〇機、熱〇〇kW×〇機） 〇〇方式のガス化炉 燃料は〇〇〇			
主な周辺機器等の仕様	〇〇ユニット（型式〇〇） 〇〇ユニット（型式〇〇） サイロ 〇台 その他（〇〇装置、〇〇装置）			

該当する部分のみ記載する

事業の概要（設備導入事業（2））

その他の 工事概要	（建築工事、土木工事、電気工事の概要） 配管工事（〇〇のための〇〇） 電気工事（監視装置、警報装置、配電工事） 土工事（埋設配管） 建築工事（〇〇〇・補助対象外）	
費用対効果	（計算式：補助金交付申請額（百万円）／設置予定設備容量（kW（相当））） 〇〇円／〇〇kW＝〇〇〇≒〇〇円／kW	
エネルギー の使用用途	利用施設	自社の〇〇設備
	利用施設の年間エネルギー消費量	〇〇〇kW
	エネルギー使用用途	〇〇〇部門
	売電する想定電力量	（系統連携する場合） 〇〇kW
推定年間エネルギー供給量と経済性	予定設備利用率	〇〇.〇%（〇〇日／年）
	想定年間エネルギー供給量	〇〇〇kWh
	想定年間収入	エネルギー供給先（売電先） 〇〇電力会社 エネルギー供給計画と想定収入 〇〇〇と計画しており、〇〇万円の想定収入
	省エネルギー、廃棄物削減等による想定年間コスト低減額	低減されるコストの概要 〇〇の〇〇〇を利用する コスト低減効果の算定 〇〇万円／年
	資源・場所の年間想定利用費	資源の種類 （バイオマス、チップなど） 土地 資源・場所の利用にかかる経費（燃料購入費、土地・施設等使用料 等） 〇円
	想定年間維持管理費	維持管理計画（体制・スケジュール） ・自社の〇〇〇事業所〇〇課で保守管理 ・水車と発電機の維持管理、運営は、〇〇〇(株)へ業務委託 年間維持管理費（維持管理、メンテナンス費用等） 〇〇円
	その他収入・経費	（具体的なものがあれば記載）
	投資回収年数（収支見通し）	（計算式：初期投資額／（収入＋コスト低減額－施設・場所利用－維持管理±その他）） 〇〇円／（〇〇円＋〇〇円－〇〇円－〇〇円－〇〇円）＝〇年

注）位置図、現地写真、水系・流量・燃料資源・温泉資源に関する資料、導入機器のカタログ、システム概要図、工事図面等を添付すること。

事業達成状況報告書

事業者名 ○○株式会社

(報告者：部署 ○○部 担当者名 ○○ ○○ 連絡先 000-000-0000)

事業名	○○○○○○○工事 (交付申請に記載した事業名とする)		
総事業費	○○,○○○千円	補助金額	○○,○○○千円
令和○年度可能性調査結果	導入可能性結果	○○○○○○○水系を対象に、現地調査及び既存資料調査を実施し、水量が通年で確保されていることが判明した。またその水量に合わせて、○○○○○式水車 (○kW) の導入可能性がある。調査箇所に設置ができれば、大規模な土地造成も不要である。	
	導入に向けた課題	地権者、水利権者、地元自治体・地元住民との間で調整・合意形成の実施 河川法、電気事業法など関係法令の手続き 電気事業者との調整状況 機器選定 など具体的に記入ください	
	解決策	(具体的にご記入ください)	
	スケジュール	○年○月 地権者、水利権者、地元自治体・地元住民との合意形成完了 ○年○月 河川法、電気事業法など関係法令の手続き ○年○月 電気事業者との調整 ○年○月 設計 (機器選定) ○年○月 工事 など具体的に記入ください	
令和○年度の導入に向けた取組内容	取組内容	(上記の課題等に対する取組み内容を記載)	
	導入に向けた課題	(未解決の課題を記載)	
	解決策	(具体的にご記入ください)	
	スケジュール	(見直したスケジュールを記載)	

採択年度の状況を記載

令和○年度可能性調査結果

報告年度の状況を記載

令和○年度の導入に向けた取組内容

設備利用状況報告書（1）

事業者名 ○○株式会社

（報告者：部署 ○○部 担当者名 ○○ ○○ 連絡先 000-000-0000 ）

事業名	○○○○○○○工事（交付申請に記載した事業名とする）		
総事業費	○○,○○○千円	補助金額	○○,○○○千円
設備名称	○○○○発電所 ← 発電設備の名称		
設備仕様	○○○○水車、○○○○発電機（出力：○○○kW）、○○○○kWh/年、使用水量最大○○○m ³ /s、有効落差○○.○m（最大使用水量時）		
設備耐用年数	○年		
システムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・○○○な制御を可能とする監視制御システムを有する ・使用水量○○○m³/sと少量の水量でも可能な○○式水車を採用している ・○○な機構をもつ除塵機（防塵機）を採用し、取水設備から水車までのゴミが少なく、メンテナンスが容易である ・既存の○○○を取水設備を有効利用している 申請書等で記載していた、導入後にPRできるポイントとしていることなど		
令和○年度設備導入時の計画	燃料資源	（資源種類） 小水力（○○○川（or○○用水 or○○下水処理設備）から取水） （資源調達計画） 上記の取水について河川法に基づく流水占有許可を取得 取水許可期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日 想定事業期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日	
	収入	（系統連携の有無） 有 or 無 （エネルギー供給先） ○○○○株式会社（電力会社名） or 自家消費 （供給先での利用用途） 供給先でどうしているか実情に合わせる 一般電気事業者へ売電 or 自社の○○設備への供給 （エネルギー供給計画） 年間○○○MWh (kWh)	
	維持管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の○○○事業所○○課で保守管理 ・水車と発電機の維持管理、運営は、○○○(株)へ業務委託 ・電気保安業務は電気管理技術者へ委託 ・発電所の日常管理は、地域住民・自治会へ依頼している 導入した発電設備の維持管理で責任をもっているのは誰（自社の所属、委託先）なのか、実態を記載する	
	投資回収年数	投資額÷（収入－燃料資源－施設・場所利用費用－維持管理） =○○○○千円÷（△△△千円/年－0円/年－□□□千円/年－■■■千円/年）=○○○≒◎年 導入時点で想定していた経費の項目及びそれぞれの金額を記載する	

採択年度の状況を記載

令和○年度設備導入時の計画

設備利用状況報告書(2)

令和〇年 年度実績	設備稼働実績	(月別実績) 別紙報告でも可 別紙内訳のとおり合計 <u>8270.8 h</u> 別紙の合計値と合うように記載する
	発電・熱供給実績	(月別実績) 別紙報告でも可 別紙内訳のとおり合計 <u>1,209,950 kWh</u>
	売電・熱供給による収入実績	(内訳) 別紙報告でも可 別紙内訳のとおり合計 <u>39,383,900 千円</u>
	エネルギー利用用途	(系統連携の有無) 有 or 無 (エネルギー供給先) 〇〇〇〇株式会社(電力会社名) or 自社の〇〇設備への供給 (供給先での利用用途) 供給先でどうしているか実情に合わせる 一般需要家に供給 or 自社の〇〇事業を行う〇〇設備への供給 (エネルギー供給実績) 年間〇〇〇MWh (kWh)
	維持管理費用	(費目別維持管理費) 〇〇〇〇委託費〇〇〇千円/年 △△△△委託費△△△千円/年 合計 <u>□□□千円/年</u> 維持管理での外部委託、除塵機(防塵機)で収集したゴミ(塵芥)の処理費用など、実態に合わせて経費として発生した費用を記載
	維持管理体制	・自社の〇〇〇事業所〇〇課で保守管理 ・水車と発電機の維持管理、運営は、〇〇〇(株)へ業務委託 ・電気保安業務は電気管理技術者へ委託 ・発電所の日常管理は、地域住民・自治会へ依頼している
	燃料資源	(資源種類) 小水力(〇〇〇川(or〇〇用水 or 〇〇下水処理設備)から取水) (資源調達実績) バイオマスなどであれば費用 〇〇m ³ /s
	投資回収年数	投資額÷(収入-燃料資源-施設・場所利用費用-維持管理) =〇〇〇〇千円÷(△△△千円/年-〇円/年-□□□千円/年-■ ■ ■ 千円/年) =〇〇〇÷〇年 報告年度実績を踏まえて経費の項目及びそれぞれの金額を記載する
	見学会	(見学会開催数) 〇 回 (見学者数) 〇 名 (次世代エネルギーパークの登録) 有・無
	その他効果	・年間約〇〇〇トンのCO ₂ 削減 ・構内の公園を地元の人たちが利用 ・周辺地域(関連事業者)へのPR、地域の広報誌取り上げられるなどにより、地域社会(業界)へのエネルギー地産地消への意識向上に貢献している 売電収入、自家消費以外での社会や周辺地域への影響・効果を記載
その他課題	・〇月頃に全国的な渇水時期があり、安定的な総業に苦慮した ・台風〇号による増水・瓦礫の流入などで取水設備が破損し、一時的に運転できず、思うような発電収入が得られなかった。 ・導入した発電機に故障が多く、修繕費が想定より多く発生しているほか、安定的な運転ができていない トラブルや運転を継続の課題を記載する、特になければ、特になしでよい。	

報告年度の状況を記載